

広聴特別委員会記録

平成30年12月14日

【開催日】 平成30年12月14日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後3時40分～午後4時15分

【出席委員】

委員長	長谷川 知司	副委員長	宮本 政志
委員	伊場 勇	委員	奥 良秀
委員	杉本 保喜	委員	高松 秀樹
委員	中岡 英二	委員	中村 博行
委員	藤岡 修美	委員	松尾 数則
委員	吉永 美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野 泰		
----	------	--	--

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	主査兼庶務調査係長	島津 克則
------	------	-----------	-------

【付議事項】

- 1 議会報告会について
- 2 その他

午後3時40分 開会

長谷川知司委員長 広聴特別委員会を開催します。本日の付議事項は議会報告会についてとその他です。議会報告会について、今日決まっていますのは、別紙にありますように会場と時間です。1月29日火曜日14時から中央図書館の視聴覚室、19時から出合公民館。1月30日14時から赤崎公民館、19時から高泊公民館。1月31日14時から津布田会館、19時から有帆公民館ということで予約しています。こういう予定

でいきたいんですが、皆さんよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）テーマにつきましては委員会が終わっていませんが、この中には各委員会の委員長や副委員長がいらっしゃいますので、責任を持ってテーマを決めていただいて、進めていただくようお願いいたします。それから班編成と動員です。前は2班にしていますが、これを3班にして、人数が少ないのを見越して3班にするのではなくて、もっと人数を増やすべきではないかという意見が結構ありました。班編成と動員についての意見をお聞きしたいと思います。

杉本保喜委員 前回初めて2班でやったわけですね。また3班に変えるのではなくて、もう1回でもやって検証したほうがいいんじゃないかと思えます。

長谷川知司委員長 2班で2回しています。6月と9月はやっています。

中村博行委員 私が3班に戻したらというのは、1日だけではありますが負担ということで、3班にしたら二日で済むということをお願いしたんですが、今回のように1日2会場でやれば、1.5日で済むので2班でいいです。

長谷川知司委員長 ほかに意見はありますか。ないようでしたら前回と一緒に、2班でやるということでもいいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に市民の数を増やすということで、私たちには一つの大きい目標があると思います。これについて意見がありましたら。

吉永美子委員 いつも言わせてもらっていますけれども、もう日にちが分かったので、その前に自分の近い地域で、公民館とか図書館もそうですけど、何か会議なり、どこかの団体が会議室等を使うとき、是非アピールする場を作れたらと思います。もう一点は商工センターのときに、コンビニにもポスターを貼ったらいいんじゃないかと言われたので、その辺の努力はいかがでしょうか。私も知っているコンビニの方にはお願いしてみたいなと思っていますんですけど、委員の皆さんいかがでしょうか。

松尾数則委員 結果にはかかわらず、一度試みしてみるのもいいかなと思います。基本的に吉永さんの頭にあるのはコンビニなんですか。

吉永美子委員 コンビニに貼らせてもらったならどうなのと言われたときに、コ

コンビニはたくさんあるので、貼り方にもよりますが、今よりはもっと目に触れることが多くなるかもしれないという期待を持ったので、コンビニに貼らせてくださいとお願いするのも一つの大きな手かなと思ったということです。

松尾数則委員 基本的には相手の了解が要るわけですから、了解をもらえれば僕は賛成いたします。

長谷川知司委員長 私たちが努力すべきことはして、それについてはやぶさかではないと思います。相手があることですから、相手の了解があれば、それをやるという方向でよろしいでしょうか。

吉永美子委員 皆さんがオーケーであれば、台に紙を置いていただいて、誰がどこに頼んだよと、ダブってはいけないので、それでどんどん書いていって、ここに入れたねというのが分かるようにしてください。

長谷川知司委員長 今まで校区ごとにどこに貼るということでやっていましたが、その校区の中にコンビニ等あれば、そこにも行って、誰が持って行ったというのを書いてもらうようにするということがいいですか。校区の中で議員がダブれば、話し合っ、誰がどこという形で言われていいと思いますので、そういうことでお願いします。ほかにありますか。

伊場勇委員 前回も少しお話ししましたが、議員一人当たり、二人若しくは三人は最低でも声を掛ける、連れてくるというところを徹底したらいいかなと思います。場所については呼びやすいところ。少し難しいところもあるので、この報告会全体で最低人数何人と、僕は4人ぐらいいけるんじゃないかなと思うんですけど、そういう方針でいていただきたいと思います。

長谷川知司委員長 動員をしたらどうかということでしたが、まず動員するということについて意見があれば。

中村博行委員 努力目標という形でやられたらいいんじゃないかと思います。今回、私は厚陽ですけど、非常に難しい立ち位置にあるというような状況がありますので、努力目標ということで、地元じゃなくても開催場所の近隣の方には声を掛けようかとは思いますが、一応努力目標という形で捉えたらよかろうかと思います。

長谷川知司委員長 努力目標としてやるという声が出ました。来られた人に聞くというチェックはすべきではないと思いますが、努力目標でどうかということがありました。これについてはどうでしょうか。

宮本政志副委員長 話が戻りますが、吉永委員が言われたコンビニとか、いろんなところに周知する、ポスターを貼っていくというのは非常にいいことだと思います。最初的时候に山陽商工会議所は、ポスターを何十枚とか、百枚単位で持ってきた場合に、会員の会社にそれを配って、事業所に貼ってもらうという作業をしているので、それは商工会議所として事業主に貼ってくださいという依頼はしますよと言われて、結構な枚数を持っていったと思います。コンビニもそうですが、いろんなところに協力を得て、周知することも大事だと思います。人数というのは考えていけないといけないんですが、四国の観音寺市議会さんが視察に来られたときに、観音寺さんは一人5名なので人数は多いんですが、一人議員が5名ほど必ず呼んで、報告会に来られたときは、どの議員の紹介で来られましたかということでチェックをする。チェックをして5名に足りない分に関しては注意を受けるような厳しいことをして、そこまでして報告会に多くの市民が来られるようにしているんですという意見を聞いたんです。そのときは報告会を何回もしていませんでしたから、これが増えなければ、それなりの努力をするべきだなというのは今でも思っています。議員が一人20枚ずつチラシをもらいますよね。私は足りなければ自分でコピーして、白色になりますけど、いろんな方にお渡しします。地元の方にお渡しすると、割りと矢田副議長とかぶるんですけど、副議長もよく回って、配っていらっしゃるんです。やはり議員が声を掛ける、今までも声を掛けておられたと思うんですよ。声を掛けておられたんでしょうけど、議会報告会の参加人数が増えていませんから、人数はちょっと考えないといけませんけど、やはり1会場一人か二人は議員が責任を持って会場に呼ぶと。自分の強い地域ではなくても、一人二人呼ぶことができないということは、多分ないと思うので、できればこれを機に一人ないし二人、できれば2会場なら4人とか人数を決めて、弱い地域ならゼロでも、強い地域では4人呼ぶという形で、努力目標にすると余り増えそうにないなという気がするので、できれば最初は無理のない人数ぐらいで、呼ぶという形のほうがいいじゃないかなと思うんですけど。

長谷川知司委員長 努力目標ではなく、義務的な形でやってみようじゃないかという提案がありました。今まで努力目標ということでやっていて、人

数が増えていないという実態が確かにあります。

奥良秀委員 今出た注意というか、罰則というか、そういったものはどういうふうなことになるのでしょうか。

長谷川知司委員長 まだ、そこまでは進んでいません。まず、動員を義務付けるかどうか、そのところで皆さんの意見を聞いています。

奥良秀委員 それを決める前に、例えばどういうふうな罰則になるとか決めておかないと、その賛否を選ぶのは難しいですよ。だから、それが口頭で注意なのか、若しくはもっと強い注意をするのかによっては、やる気というか、モチベーションも変わってくるでしょうし、ただ、それが果たして、この委員会が議員に対して罰則を与えられるかどうかなのかも疑問に思うところです。

宮本政志副委員長 観音寺市さんは議長から注意があると言われたんです。

長谷川知司委員長 議長から注意ですね。

宮本政志副委員長 そこまでではなくて、例えば皆さんが一人か二人呼びましようよと決まって、声を掛けて、皆さんが呼んでいるのに自分だけゼロ、次もゼロ、次の会場もゼロといったら、それぞれの議員が「これはいけない」という自己判断に任せて、いきなり罰則を決めて、どうだこうだというところで言ったんじゃないんですよ。やはり努力目標よりは、増えてないので、まず増やそうと。そのためには周知の努力もいるし、1会場につき、一人、二人なら呼べるんじゃないですかということも申し上げている。罰則というのは後の話です。

中村博行委員 お尋ねしますが、観音寺市さんは1年間に何回報告会があるんですか。

宮本政志副委員長 1回だけです。

中村博行委員 そうすると全然違うと思うんです。本市の場合は年4回6会場ですよ。何年もやってきて、同じテーマを議論しているんですよ。前回は奥委員が言われたように、支持者の中には「あんたに任しているんだから、一生懸命やってきて、分からんところはあなたに聞くよ」という

ことがあったので、モニターの意見にもあったんですが、出合地区のデマンドだったら多かったというふうに、テーマによっては努力しなくても言ったらおかしいですが、ある程度集められるというふうに思います。議員定数においては60人集まったこともありますし、市民の関心のあるテーマ、モニターからでは公共交通というふうに書いてありましたが、そういったふうに市民に身近な問題で、例えば水道料金の問題とかになったら、必ず多いと思うんですよ。そういったテーマだったら自然と集まっていただけし、普段は粛々とこれが続けるということではないんじゃないかと思うんですよね。ですから罰則うんぬんというのは現実の問題としては難しいし、1年に1回と年4回6会場では全然意味が違うと思います。ですから、あくまでも努力目標ということで、それぞれが自覚してやられたらいいと思いますし、前回も申しましたが、議会報告会について抜本的に話し合うことも必要じゃないかと考えます。

吉永美子委員 宮本副委員長の発言はここまでやっている議会もあるという紹介をされただけだと思っているので、山陽小野田がそうすべきだと言われたとは全く思っていない。とにかく、もっと強めるべきじゃないのかという思いで言われたのかなと思ったんですが、先ほど努力目標と出ている、努力目標にするにしても何人は皆頑張ろうやという人数は言わないといけないような気がして、それをこのメンバー11人が率先垂範して出さないと駄目じゃないですか、ほかの議員に何ぼ言っても。だからこのメンバーで、私たちがこの人数だったら、次の29、30、31ですけど、まずは一人一人が何人は出していこうねと掛けると、例えば3人とするじゃないですか、1日に2会場のうち必ず一つは出せば3人でしょ。33人は出るということになるでしょ。だから、それ以上出てこなかったときに、アンケートで議員から誘われたとかあるじゃないですか。それを一つの見極めとして、もうちょっと頑張らないといけんねと自分たちの反省も込めて、何人はお願いしますということで委員長が言わないといけないじゃないですか、次の報告会いつやりますとかいろんなこと。そのときに何とか市民に来てもらいたいということでは、やはり私たちがある面連れ出していかないと、現実問題として、自発的に来られる方が少ない中で、皆さん何人は目標としてやりたいので、御理解ください、御協力くださいという投げ掛けはしてもいいですよ。その中で、率先垂範で私たちが決めた人数について私たちは必ずやるということで決めていったらいかがでしょうか。

長谷川知司委員長 確認なんですけど、1会場に何名、6会場あるから、それ

掛ける6でいくのか、6会場全体で何名ということなのか。例えば自分
が出席しない会場に来てくださいと言えるかどうか。連れて行くにして
も、自分が出るならまだしも、ちょっとそこがどういうことになるかと
思うんです。

吉永美子委員 前の議会報告会と違って、前のときは自分が出なくても一緒に
行ったりしていたんですよ。今はそういう状況にならないじゃないです
か。ということは基本的に自分が行くときですよ。そうすると3人。

長谷川知司委員長 各会場に一人で3人ですか。トータルで3人という考えで
すか。

吉永美子委員 昔3人は出そうねというときがありましたよね。3人なら頑張
れるかな。これが10人と言われたら、そのことで何日か前から頭がい
っぱいになりますね。

松尾数則委員 12月議会報告会を通じて、一人の議員が3人という形でいい
んですか。そういうことですね。「はい」と呼ぶ者あり) 了解しました。

高松秀樹委員 僕は伊場委員と副委員長の意見に賛成です。吉永委員が「過去
3人とかありましたよね」と言いましたが、あったんです。あったけど
皆、連れて来ないんです。なぜかというとな誰が連れてきたか分からない
から、最終的なトータル数は合わないんですよ。だから、奥委員の言
うように罰則規定は無理なんです。皆さん3人でも、4人でもという
中できっちりやっていかないといけないし、その意味では、吉永委員は
この委員会という話をされたんですが、この委員会は単なる広聴特別
委員会なので、これは議会の取組なので、ここで決めたことは全議員に
周知して、同じように行うべきだと思います。議論を元に戻すと、両委
員の言われた、動員を掛けるのか、掛けないのかというところだと思う
んです。掛けるとなれば、まず何人の動員を掛けていくのか、どういう
動員をかけていくのかというふうなことを議論しない限り、恐らくなか
なか終わらないなあという気がします。

長谷川知司委員長 そういうことで、最初に動員するかどうかということでき
くんですが、皆様の意見、今までどおりであれば尻すぼみということな
ので、今回試しにまずやってみようじゃないかと思いますが、委員長の
私が言うてはいけないんですけど、どうでしょうか、動員をするという

ことで。

吉永美子委員 だから、さっき言ったのがそれですけど。議員の皆さんに3人
お願いしますと。

長谷川知司委員長 吉永委員の意見は分かりました。皆さんはどうかというこ
とです。

松尾数則委員 基本的に今まで参加人数が少なかったのは事実なんです。早急
にそれを解決しようとしたら、そういう形じゃないと難しいんじゃない
かと思うんですね。高松さんが言われました「3名と言ったけど、実
際3名呼んで来ていなかったんじゃないか」というので、今アンケート
用紙を持ってきたんですよ。議員から誘われたという項目に名前を書く
と、何々議員から誘われたとか書くのも一つの手かなと思います。

藤岡修美委員 漠然と動員を掛ける方向にいった場合、各会場に何人、キャパ
があると思うんですよ。議員の対応とか会場とか。大体何人いれば議会
報告会をやった意味を見い出せるのかという議論はいかがですかね。

松尾数則委員 以前お話ししたかと思うんですが、大体一つの会場にPR部会
で話した内容では15人から20人ぐらいでという話です。

高松秀樹委員 今はカフェ方式でしょう。何グループ設定するのかという話で、
もともと4グループ設定しましょうって、理科大もあるからね。4グル
ープで議論になる人数は何人かという話になったときに、市民の皆さん
が6人とか7人だろうという話だったと思うんです。7人なら28人、
6人だったら24人ですよ。それが6会場あるということですから、
130人ですよ。今3人ずつ動員掛けましょうという話でしょ、うちは
22人しかいないんですよ。十分間に合うんですよ。だから、そういう
形でまずやってみて、言われるように60人も来たよという話になれば、
議論を始めたらいんじゃないかという気はします。

長谷川知司委員長 やってみるということで、今回動員をするということで、
一人当たり3人で、ほかに意見がありますか。

奥良秀委員 動員という言葉が出ているんですけど、動員の定義はどういうこ
となんでしょうか。

長谷川知司委員長 呼び掛けて来る人が3人ということで、それ以上に声を掛けてもいいですけど、必ず来る人が3人という理解だったんですけど。

奥良秀委員 必ず来る人が、たまたま来なかったらどうするんですかね。決して呼ばないという意味ではないんですよ。ただ、今までも呼んできている。結果こういう状態。もちろん皆さんもらった20枚のチラシを全部配られていると思いますよ。ただ、来ていない状況なんですよ。こういう状況をどう思われているのかなというのがありますし、今更、私の場合でも、また動員して、お願いして、来なかったら。今回名前を書かないから、私が呼んだ人が来たか、来ていないか、はっきり分からないんですけど、何か意味がないような気がします。

宮本政志副委員長 私が何で観音寺の件を言うのかといたら、ちょっと反省があって、吉永委員が埴生のときは呼んでいらっしやったんですよ。自分が地元の出合地区のときは声を掛けた方が来ていなかったと。確かに後で話をしてみたら、「議会のことはあなたから聞けばいいから」というふうに言われたときに、それは議員個人の市政報告とか、自分が後援会に対してやればいいことであって、この議会報告会は実施要綱にも書いてあるように、市民との意見交換を行うため、説明責任を果たすためと書いてあるので、議会として議会報告会をやっているから、できれば声を掛けて行って、人数を増やしていく。さっきの何班にしたらいかなというのは、人数が増えすぎて、本当にそこまでぜいたくな悩みを感じてみたいので、とにかく動員というか、とにかく声を掛けて、来てもらって、とにかく増やすというところで、この議会報告会の本来の役目になっているんじゃないかなという、自分の反省点も踏まえて声を掛けて、動員したほうがいいんじゃないかという趣旨のことを言ったんです。

奥良秀委員 実際問題、動員をかけて、私個人、議員として人を呼ぶ。この行為というのが、どうも議会報告会の活動というよりも、議員個人の活動のほうに重きが多いのかなというふうに思えるんですよ、議員活動に。そこを、ちょっと私、理解できないので、副委員長が言われるように、人を呼んで、自分の後援者というか、近い人を呼んで、議会報告会に来てくださいと言われた場合、何か単一の議員の報告会になりかねないんじゃないかなというようにも思います。決して呼ばない、呼ぶとか、そういう問題ではなくて、ちょっと政治色が強いものになっていくんじゃないかなという懸念があるんじゃないかなと思います。

長谷川知司委員長 私がこれ、皆さんに呼び掛けてくれというのは、市民のほうでも敷居が高いから、来られていない方がいらっしゃるから、来てもらって、「ああ、こんなものか、次行こう」というように、市民の方に知っていただくために、最初に自分の支援者なり、誰でもいいんですね、そういう人に来ていただくということで、動員という言葉を使ったんですけど、来られた方が「面白かった。また行ってみよう」というようになればいいなということで、取りあえずやってみようということなんですが、何かこれについてほかに意見があれば。ただ、これが毎回呼ぶとなると、同じ人に何回も声を掛けたら、「もういいじゃろ」と言われた経験は私もあります。今回はそれでやってみるということでよろしいでしょうか。大体一人3名以上で。それから先ほど松尾委員も言われたけれど、議員の紹介のところに誰というのを括弧書きにするというのはどうでしょうか。それも一応入れておく、書かれなければ書かれないでもいいんですけど。

高松秀樹委員 人数は3名だということでもいいんですけど、とにかく期間中に3名の人たちに来ていただくということでもいいですか。場所特定なしでもいいんですよ。

長谷川知司委員長 はい。ほかに意見がありますか。一応そういうことでいきます。もう一つ、班は二つということですが、班分けは、今までやってきた班の中で、前回都合で変わられた方もいらっしゃいますが、変わる前のベースの班分けで振り分けるということですが、それでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）班長は吉永委員長と中村委員長になっていただくということでしょうか。分け方は二人の委員長の中で、自由にこれを分けていただくということでお任せします。

吉永美子委員 皆さんのことを考えると、昼と夜をやったほうが楽じゃないでしょうか、どうなんですかね。14時と19時をやったほうがいいですよ。

長谷川知司委員長 1日半ということですね。

吉永美子委員 そのほうがいいですよ。例えば1月29日火曜日の14時、19時と、1月30日の14時までが一つの班のほうが楽じゃないでしょうか。どんなでしょうか、意見が頂ければ有り難いです。

長谷川知司委員長　そういうことでやってみましょう。どちらがAかBかは二人で決めていただきます。ほかにありますか。

高松秀樹委員　今日ふと気が付いたんですけど、もともと広聴特別委員会はPR部会と企画部会に分かれていたと思うんですよ。まずそこで話をもんで、この広聴特別委員会に持ってくるものと思っていたんですけど、今日はもう済んでしまったんですけど、今後またそのような運用でよろしいんですか。

長谷川知司委員長　はい。それでいきましょう。次回はそういう形で進めていこうと思います。各常任委員会のパワポ、読み原稿の締切りが1月11日で考えています。それを広聴委員会で最終的に確認させていただくのが1月15日から18日の間でいきたいんですが、都合の悪い方はいらっしゃいますか。(発言する者あり) 17日10時からが第1案、15日10時からを第2案にしておきます。これで広聴特別委員会を閉会します。

午後4時15分　散会

平成30年12月14日

広聴特別委員会委員長　長谷川知司